

[1] 平成 2 9 年度 事業報告

1. 全 般 的 概 況

公益社団法人としてスタートを切って、丸6年が経ちました。

4月16日公表の内閣府の月例経済報告の基調判断では、一雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。一と、表現を据え置けていますが、我がボウリング業界はまだまだ厳しい状況が続いております。

政治的にも経済的にも不透明な部分が多い時代の中、業界内の公益法人三団体である公益社団法人日本プロボウリング協会、公益財団法人全日本ボウリング協会、そして私共日本ボウリング場協会は、それぞれ設立50年という節目を既に通過しました。

要するに、全国のボウリング場の多くが、40年～50年の長い歴史を以って今日に至っているのです。

そして、建物や設備の老朽化、耐震問題等々で、長い歴史の中で地元の人々に愛されたボウリング場が、やむなく閉鎖に追い込まれるという状況が続いております。

今、ボウリング場はいろいろな局面に立たされ、業界はじまって以来の大きな過渡期に差し掛かっているのです。

これは、決して日場協だけの問題ではありません。ボウリング業界全体の危機的状況なのです。業界は繋がっているのです。

この状況を抜け出すために、まず我々ボウリング場から元気を取り戻していかなければならないのは言うまでもありません。

中里 則彦会長が就任して、丸7年。

その間、公益社団法人としてさまざまな変革に対応してきました。

ありがたいことに、昨年度後半以降、このような状況であるにも関わらず、多くのマスコミがボウリングを非常に好意的に取り上げてくださっています。

これから先は、まさにボウリングの生き残りに関わる問題が起こりうる時代といえます。

業界が一丸となって対応していかなければなりません。

皆が一つになるために、新しい時代を築いていくために、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

このような状況のなか、弊協会は昨年度定時総会時に報告の29年度事業計画に示した、次に記載の公益目的事業を中心に積極的に取り組み、相応の成果を挙げることができましたので報告します。

役員一同でさらに努力をしてまいりますので、引き続き会員皆様のご支援ご協力を切によろしくお願い申し上げます。

2. 公益目的事業

I ボウリングを通して、スポーツへの参加意識を高める事業（公益目的事業1）

1. 日本商工会議所会頭杯争奪「第51回BPAJ全国ボウリング競技大会」の主催

- 主 管 富山県ボウリング場協会
- 期 間 平成29年6月2日（金）～4日（日）
- 会 場 ・ダブルス戦、決勝戦・表彰式・引継式・閉会式 富山地铁ゴールデンボウル
・ダブルス戦 …………… ノースランドボウル呉羽
・ダブルス戦 …………… 高岡スカイボウル
・スペシャルオリンピックスの部会場 ……… 立山グランドボウル
- 参加数 都道府県 合計 154チーム（308名）

2. 「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」

- 経済産業省及び公益財団法人日本生産性本部の後援で実施された、「11.22いい夫婦の日・第20回キャンペーン」に参画し、全国の加盟センターで「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」を実施した。
・参加センター 191 …………… ・2,855チーム（5,710人）

3. 「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ

- 特記すべき活動は、ありませんでした。

II 日本ボウリング史料館の設置・運営事業（公益目的事業2）

書籍に関しては、事務局が入居している 東京都品川区南品川2-2-10 南品川Nビル3階の一角にコーナーを設け、引き続き運営を行っている。

その他のグッズ等展示品については、27年にスペースをご提供いただき移転したアオキグランドボール（埼玉県川口市中青木3-8-17）内に引き続き展示、現在に至っている。

一般の閲覧者及びマスメディア関係者の取材に対応し、それが数々のボウリングの露出に繋がっている。

また、ボウリング史料館に足を運ぶことが出来ない人のために、グッズ等の展示物を撮影し、協会のホームページでそれらをコーナー別に観ることが出来る「ボウリングミュージアム（Web史料館）」を開設した。

Ⅲ 児童の健全育成事業（公益目的事業3）

児童が友達とのコミュニケーションを深め、児童が家族との絆を強めるスポーツであるボウリングを通して、児童にスポーツの楽しさを実感できるようにするとともに、かつ児童に安全な時間と場所を提供することを目的とする活動を行った。

1. 「ジュニアボウリング教室」の主催

(1) BPAJ・JPBA共催

「2017年 夏休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 後 援 スポーツ庁
- 期 間 夏休み期間中：2017年7月17日（月・祝）～8月31日（木）
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③スコアチャレンジの実施
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
・チラシ（HPにアップ） ・参加賞（グリコ・プリッツ）
- 全国の105センターで開催された。

(2) BPAJ・JPBA共催

「2017年 冬休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 主 管 公益社団法人日本プロボウリング協会
- 期 間 冬休み期間中：2017年12月23日（土・祝）～2018年1月7日（日）
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールをJPBAより送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
・チラシ（HPにアップ）
- 全国の24センターで開催された。

(3) BPAJ・JPBA共催「2017年 春休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 期 間 春休み期間中：2018年3月24日（土）～4月8日（日）

- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 J P B Aプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・J P B A J rワッペン
・チラシ（HPにアップ）
- 全国の 26センターで開催された。

(4)「ジュニアボウリングキャラバン」の展開

全国のボウリング場で「ジュニアボウリング教室」を実施する際、参加するジュニアに対し、的確で且つ安全なコーチングができる指導者を育てるため、公益社団法人日本プロボウリング協会と公益財団法人全日本ボウリング協会の協力により、全国10会場で、ジュニアコーチングセミナー、ジュニアマネージメントセミナーを展開した。

また、キャラバン開催当日、公益社団法人日本プロボウリング協会 インストラクター委員会及びプロボウラーのご協力をいただき、保護者同伴による「ジュニアボウリング教室」を開催した。

地 区	会 場	開催日	講習会参加数	ジュニア教室参加数
北海道	ディノスボウル札幌白石	3月10日(土)	18	27
東 北	福島・からしまボウル福島	4月 3日(火)	23	23
関 東	東京・高尾スターレーン	4月 2日(月)	33	30
東 海	愛知・アソビックスびさい	3月27日(火)	24	59
北 陸	富山・富山地鉄ゴールデンボウル	3月17日(土)	8	38
関 西	大阪・イーグルボウル	4月 8日(日)	9	11
中 国	広島・ミスズボウル	4月11日(水)	18	
四 国	香川・太洋ボウル	2月28日(水)	22	102
九 州	福岡・博多スターレーン	3月27日(火)	33	80
沖 縄	スポーツワールドサザンヒル	3月10日(土)	16	36

2. ジュニア開放レーンの推進

比較的お客様の少ない夕方などの時間帯をジュニア等に開放、及び幼稚園児の体験ボウリングを実施し、子ども達にスポーツの楽しさと安全な時間と場所を提供した。

この指導者として、競技者団体所属のボウラーの皆さんにボランティアで協力をお願いした。

3. 「ミニ・ボウリング機」の普及

当協会が所有するミニ・ボウリングの機器を、当協会加盟のボウリングセンターのみなら

ず、地域が行うチャリティ等の公益目的活動について無償で貸し出しているが、今年度はその実施はされなかった。

4. 「こども110番のボウリング場」の推進

各都道府県単位で地元行政や警察と連携して、「こども110番のボウリング場」を推進している。

IV. 福祉活動事業（公益目的事業4）

1. 「第51回 宮様チャリティーボウリング大会」の主催

- 主 管 関東ボウリング場協会
- 協 力 社会福祉法人友愛十字会
- 期 間 平成25年11月25日（土）～26日（日）
- 会 場 品川プリンスホテルボウリングセンター（東京）
- 参 加 数 男子 226名、女子 89名、
障害者男子 89名、障害者女子 26名 <合計430名>
- 成 績 一般男子 優勝 川上 格尚（神奈川・湘南とうきゅうボウル）
一般女子 優勝 川田 菜摘（群馬・桐生スターレーン）
障害者男子優勝 飛澤 和徳（栃木・足利スターレーン）
障害者女子優勝 森澤 亜希子（埼玉・アオキグランドボール）

2. 「AED（自動体外式除細動器）」設置の推進

BPAJ NEWS・2018年3月30日号において、2015年1月15日号に掲載した、総合警備保障㈱のALSOK「AEDレンタルサービス」の案内記事を、代理店・株式会社あさひと調整のうえ再掲載し、AED設置の推進に注力した。

3. 幼児、高齢者、障害者への「簡易ボウリングキット」寄贈・貸し出し

幼児、高齢者、障害者等の誰でもが簡単にボウリングを通じてスポーツに親しむことができるよう、軽量のピンとボールの「簡易キット」を購入し、無償で提供・貸与する事業を推進している。2017年度のキット購入はなかった。

4. 「メタボリックシンドローム対策」推進事業

- ・メタボリックシンドロームが様々な生活習慣病の要因となっている。この改善には適度な運動が重要であり、ボウリングを通じてメタボリックシンドロームの改善を図るよう啓発活動を行った。

- ・全国の加盟センターで開催をする「健康ボウリング教室」を主催し、国民の健康増進に寄与した。
 - ・若者からお年寄りまで幅広い層に人気の「よさこいソーラン」の振り付けを、ボウリング前の準備運動・ストレッチとして使用することが出来るように、専門家の意見を取り入れ、「ボウリングソーラン」の映像を作成した。
- メタボ対策・健康づくりとしてのボウリングにより親しみを感じてもらい、有酸素運動としてのボウリングの効果をより高めることを目的に、国民にボウリングの効能をアピールした。

V. 高齢者福祉活動事業（公益目的事業5）

高齢化社会が急速に進展する現在、高齢者の健康増進、身体機能の強化は社会の極めて重要な課題であり、高齢者の運動能力を向上させるために、スポーツへの参加意識を高めることを目的とした活動を行った。

1. 長寿ボウラー番付の発表

平成8年度より実施している「長寿ボウラー番付」は、日場協の高齢者福祉活動事業の一環として実施されており、その回数も平成29年度で22回目を数えた。

BPAJ・NEWSを通じ全加盟センターよりの報告（男性：80歳以上・2,813名、女性：75歳以上・4,127名の計6,940名、夫婦：合計150歳以上、527組・1,054名）と、更にポスター掲載のキャッチフレーズを募集し、それぞれ多数の応募をいただき発表した。

また、警察庁・都道府県警察の「振り込め詐欺撲滅対策」への協力として、引き続き「ポスター」に「標語」の掲載をした。

- (1) 番付ポスターを制作し、全加盟センターへ男性編・女性編各2枚及び夫婦編2枚を配布した。
- (2) 全国のマス・コミにリリース資料を配布し、長寿ボウラー番付の広報に努めた。
媒体で取り上げられた情報は、各センターより日場協に情報提供された。
「長寿社会化現象」にマッチしたものとして、マスメディアのみならず、あらゆる業界から注目を集め、ボウリングは「健康スポーツ」「生涯スポーツ」として、その地位を不動のものとしている。
- (3) 番付に掲載された全「長寿ボウラー」に「番付ポスター」と「認定証」を、また横綱ボウラーには記念品（協賛：新日本製薬株）を、所属の加盟センターを通じ贈呈した。
- (4) 希望者に「公式ユニフォーム」と「公式ワッペン」を有償頒布した。
- (5) 満80歳以上の長寿ボウラーを対象とした「全国長寿ボウラーボウリング大会オーバー80's・90's」を主催した。

- 主 管 関東ボウリング場協会
- 会 場 東京ドームボウリングセンター（東京都文京区）
- 開 催 日 平成29年9月11日（月）
- 参 加 者 90歳以上：12名 80歳以上：56名
- 優 勝 者 90歳代の部：舟橋 渡一選手、 80歳代の部：斉川 稔選手

2. ボウリングを通じての高齢者の運動能力向上に関する普及啓発

ボウリングは、高齢者の運動能力を高めることが医学的に証明されており、高齢化社会が急速に進展する現在、スポーツを通じての健康づくりを進めるとともに、予防医学の見地からも高齢者の運動能力向上に高い効果が認められ、国民の最も身近なスポーツであるボウリングを、高齢者に普及させる活動を行った。

VI. ボウリング関係団体の公益目的活動への参加と支援事業（公益目的事業6）

ボウリングに関係する団体は、それぞれが公益を目的とした活動を実施しており、当協会はその関係団体を実施する公益目的事業のうち、当協会活動の趣旨に適合する事業であり、下記関係団体が実施する事業に積極的に参加し支援した。

- ・日本ボウリング評議会（BCJ） … 事業休止中のため、支援しなかった。
- ・公益社団法人日本プロボウリング協会（JPBA）
- ・公益財団法人全日本ボウリング協会（JBC）
- ・日本ボウラーズ連盟（NBF）
- ・全国実業団ボウリング連盟（ABBF）
- ・ジャパンレディースボウリングクラブ（JLBC）
- ・公益財団法人スペシャルオリックス日本（S. O. 日本）

3. その他の事業（相互扶助事業）

VII. その他の事業（相互扶助事業）（その他事業1）

1. 全国ネット・テレビ放映の実現

全国ネットのテレビ放送でボウリング競技会等を放映し、広く国民がスポーツを通じてその楽しさを享受し、健康促進及び豊かな人間性の涵養に寄与するようボウリングに関する広報を行った。

2. 「ボウリングの日キャンペーン」の実施

- (1) 江崎グリコ㈱との共同主催により、テーマ「ボウリングが家族を笑顔に 家族3世代で遊ボウリング！」をテーマに、「プレゼント・キャンペーン」を全国の加盟センター

で実施。

①全体対象 … 2ゲーム以上プレーされた方を対象に、ハズレクジ無しの「限定くじ引き」(先着370名)

●ストライク賞…「ボウリングの日オリジナルデザイン・グリコお菓子セット」20名

●参加賞 …「オリジナルミニクリアファイル」370名

②キッズ対象 … 来場の小学生以下のジュニアに「ボウリングの日オリジナルデザイン・プリッツ」をプレゼント(先着120名)

(2)「小学生以下のジュニア無料キャンペーン」

6月22日(木)・ボウリングの日は、小学生以下のジュニアをオープンから17:00の間、最低2ゲームまで無料とした。

ただし、時間帯もゲーム数も企業、センター、場協会の判断で任意にて実施。

できるだけ多くのセンターで実施していただき、「6.22はボウリング場に子どもの笑顔が溢れる」ことを目標とした。

4. 管理部門

VIII. 管理部門

1. 会員の動向

新法人として会員体制の変更、会費の低減化及び役員の組織強化努力により、28年度に加盟率は64%に達し、維持を続けている。

(1) 会員企業数、会員センター数・レーン数及び加盟率

	28年度期末(平成29年3月31日)	29年度期末(平成30年3月31日)
会員企業数	265社	263社

区分	28年度末(平成29年3月31日)		29年度末(平成30年3月31日)	
	センター数	レーン数	センター数	レーン数
加盟	508	16,360	505	16,331
未加盟 (内付帯施設など)	276 (16)	6,421 (100)	272 (16)	6,310 (100)
合計	784	22,781	777	22,641
加盟率	66.1%	72.1%	66.4%	72.5%

【注】加盟率は、付帯施設(公共施設及び9レーン以下のセンター)を除き算出した。

(2) 平成29年3月31日現在の賛助会員数 … 9社

2. 総会の開催

(1) 「第6回 定時総会」

- 日 時 平成29年6月3日(土)・午後1時30分～2時50分
- 場 所 富山地铁ビル 5F・「佐伯記念ホール」
- 議 事 第一号議案 平成28年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について
報 告 平成29年度事業計画書、収支予算書、
資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告について
第二号議案 監事の一部選任について
◆ 議案は、全て原案どおり可決承認された。

3. 理事会の開催

- (1) 第36回 理事会 平成29年 4月26日(水) 於 日場協内・会議室
- (2) 第37回 " " 6月 3日(土) 於 富山地铁ホテル11F「剣の間」
- (3) 第38回 " " 6月 4日(日) 於 富山地铁ホテル11F「剣の間」
- (4) 第39回 " " 7月 6日(木) 於 日場協内・会議室
- (5) 第40回 " " 9月 4日(水) 於 日場協内・会議室
- (6) 第41回 " " 11月25日(土) 於 品川プリンスホテル メインタワー3階「すずらん・きんれんか」
- (7) 第42回 " 平成30年 1月16日(火) 於 グランドプリンスホテル新高輪B3 イルレオーネ「ローリエ」

4. 拡大三役会議の開催

- (1) 平成29年 8月30日(水) 於 日場協内・会議室
- (2) 平成30年 2月13日(火) 於 "
- (3) " 3月26日(月) 於 "

5. 三役会議の開催

- (1) 平成29年10月19日(木) 於 日場協内・会議室

6. 合同小委員会の開催

- (1) 平成29年10月19日(木) 於 日場協・会議室

7. 事業委員会の開催

- (1) 平成28年 8月29日(火) 於 日場協内・会議室
- (2) " 10月25日(水) 於 "

(3) " 1 2月13日(水) 於 "

8. 平成30年・賀詞交歓会の開催

日本ボウリング場事業協同組合との共催で、下記の通り開催した。

- 日 時 平成30年1月16日(火)・午後5時～7時
- 場 所 品川プリンスホテル・アネックスタワー5F「プリンスホール」
- 出席者 275名

9. 日場協における役員人事

(1) 第6回 定時総会(6月3日)に於いて、次のとおり監事1名の追加選任についての提案をし、承認された。

氏 名	企業名(役職名)
安井 淳一郎	(株)スポーツ (代表取締役社長)

10. 日本ボウリング評議会(略称:BCJ)における活動

わが国ボウリング業界全団体の団結を目指し、相互の理解を深め、業界全体の連絡協議機関としての役割を果たすことで、ボウリングの普及・振興を図るため、平成18年10月1日付で発足したこのBCJの活動に参画した。

23年12月の「第22回理事会」にて、諸事情によりボウリング界発展のためという大局的考えを尊重しながら、評議会の組織は残し当分の間事業を休止することが決議され、今日に至っている。

11. ボウリング友好会(略称:BFC)の活動

NBF及びABBF両団体の設立の経緯に鑑み、今後の友好関係の維持及びより一層の発展を目指し、NBF・ABBF・BPAJで平成19年4月より新しいグループとして「BFC」を結成し、活動している。

[目的]

- ・「ボウラーの開発」を第一義に推進する。
- ・BPAJ非加盟センターの加盟を推進していく。
- ・ボウリング振興の事業を実施する。
- ・上記3項目の目的達成のため、三者の対話の機会をより多く持つこととする。

1 2. 各団体との懇談会、他の開催

(1) (公社) 日本プロボウリング協会との「懇談会」

①平成29年10月19日(木)・午後3時30分～ 於 日場協内・会議室

※日場協からは、中里会長、米須副会長、黒田副会長、国本副会長、岡田専務理事・事務局長、里見総務委員長、船木事業委員長、黒川常任理事が出席

②平成30年 2月22日(木)・午後1時～ 於 日場協内・会議室

※日場協からは、中里会長、国本副会長、岡田専務理事・事務局長が出席

(2) (公社) 日本プロボウリング協会、(公財) 全日本ボウリング協会との「懇談会」

①平成30年 2月21日(水)・午後6時30分～ 於 品川プリンスホテル

※日場協からは、中里会長、米須副会長、岡田専務理事・事務局長が出席

(3) 日本ボウラーズ連盟 白石 雅俊理事長との打ち合わせ

①平成29年 8月30日(水)・午後2時～ 於 日場協内・会議室

※日場協からは、中里会長、米須副会長、黒田副会長、国本副会長、岡田専務理事・事務局長、里見総務委員長、船木事業委員長が出席

(4) 「グローバルボウリングトーナメント」打ち合わせ会議

ボウリングの発展に向け、ボウリング界が一体となり立ち上げた「グローバルボウリングトーナメント」の開催について、打ち合わせをすすめた。

①平成29年 4月10日(月)・午後4時 ～ 於 日場協内・会議室

② " 5月 1日(月)・午後4時 ～ 於 "

③ " 6月26日(月)・午後4時 ～ 於 "

④ " 8月 7日(月)・午後4時 ～ 於 "

⑤ " 8月21日(月)・午後3時半 ～ 於 新狭山グランドボウル

⑥平成30年 1月29日(月)・午後4時 ～ 於 日場協内・会議室

⑦ " 2月19日(月)・午後4時 ～ 於 "

※日場協からは、岡田専務理事・事務局長、伊藤職員が出席

●「2017 グローバルボウリングトーナメント」の開催

9月10日(日)・午前9時～ 於 新狭山グランドボウル(埼玉県)

1 3. ボウリング発祥記念碑の維持管理

日場協が任意団体から通算して創立25周年を期し、後世へこの史実を伝えていくため、平成2年6月22日に「ボウリング発祥記念碑」を長崎市内に建立し、長崎県ボウリング場協会へその維持管理をお願いしている。

また、15年6月22日の“ボウリングの日”には、「社団法人化30周年」記念事業の一環として、「案内板及び柵」の設置・整備も行なった。

- ・ 建立場所 長崎市所有「長崎市松が枝町駐車場」
- ・ 借地面積 6.6 平方米
- ・ 使用契約 長崎市から1年間の土地使用許可を得、以後自動更新されている。

14. 表彰規程による表彰の実施

(1) 第6条5号・永年勤続賞の贈呈

- ・ 10年勤続者 3名
- ・ 20年勤続者 4名
- ・ 30年勤続者 1名

<合計 8名>

16. その他の組織団体への加盟・協調

(1) 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

多種多様なスポーツ・健康関係団体が加盟しており、協調や情報交換等を行っている。特に、スポーツ界全体の振興策や税制等について、他の会員団体と共同で調査・研究している。

尚、弊協会中野啓二郎顧問は名誉副会長を、また中里会長は理事を務めている。

<加盟団体・企業数> 34

(2) 東京商工会議所

- ・ ボウリング業界の更なる発展のため、平成8年11月に新規入会した。
- ・ BPAJ全国大会は、日本商工会議所の「後援」をいただくと共に、第32回大会（平成9年度）以降「日本商工会議所会頭杯争奪」と銘打ち開催されている。
- ・ 日本商工会議所・会頭である 三村 明夫 氏 に、前任の 岡村 正 氏 に引き続き26年2月より、弊協会の名誉会長を委嘱している。